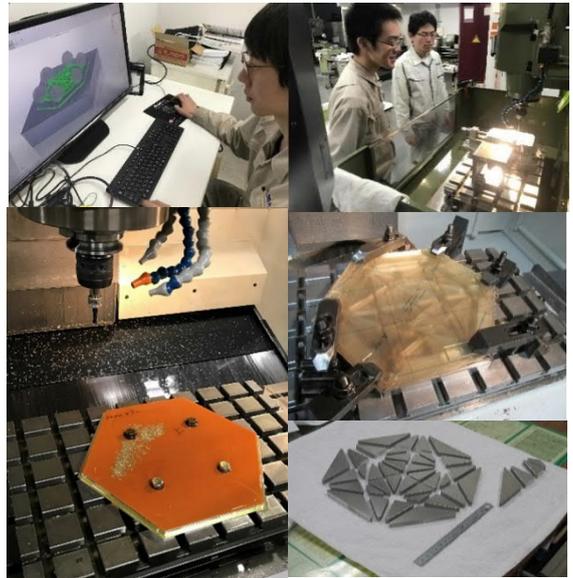
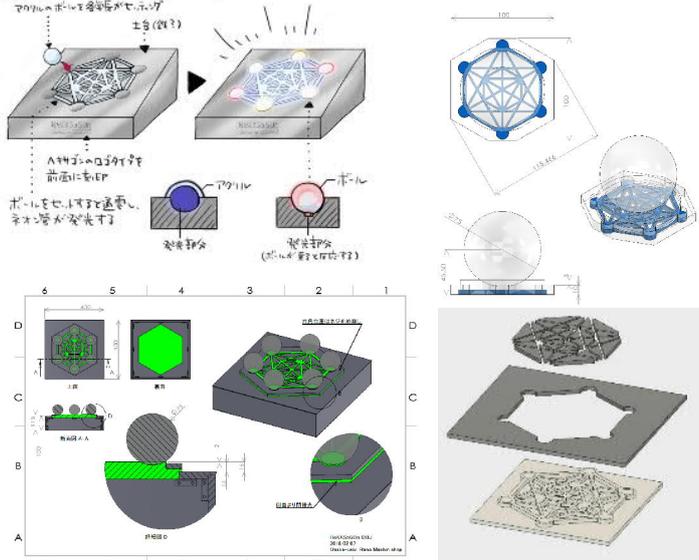




2018年4月12日、大阪大学銀杏会館で開催された第6回ヘキサゴン学長会議。ヘキサゴンシンボリックオブジェ（工作支援室にて設計・製作）に各大学の“魂ボール”を置き、ヘキサゴンシンボルを完成させるオープニングセレモニーが行われた。思いがけず6大学学長が手を取り合うこととなり、6大学の更なる結束と新たな展開を確信させるセレモニーとなった。

【HexkaGOn オブジェ室（ラフカット）】



ヘキサゴンシンボリックオブジェの最初のスケッチと、それを基に3D-CAD/CAMソフトウェアを利用して作成したシンボリックオブジェの設計図と完成予想図。右上は各大学の“魂ボール”を置く台座の設計図。これらの3D完成図を参考に、共創チームでデザインなど詳細に検討した。



2020年4月、本学医学部附属病院事務部からの要請により、本センターでクリアホルダー・プラスチック板から製作したフェイスガード・アイガードの製作風景（左から1・2枚目）と製作したフェイスガード（左から3枚目）。フェイスガードは計4500セット、アイガードは3000部を製作。工作支援の経験を活かし、工法等を工夫し、数日間(4/7→4/10,4/14→4/16)でフェイスガードを合計4500セット、アイガードは3000部（4/7→4/10）を製作。段ボール箱1つはフェイスガード500セット分。